

**緊急
情報**

葉色低下継続中！ 確実な穂肥・追肥で酷暑を乗り切ろう！

- ・これまでの高温の影響で、ほとんどのほ場で葉色が低下しています。
- ・今夏は「気温がかなり高くなる」と予報されています。
- ・降水量は少なく、用水を大切に使用する必要があります。

1 7月24日現在のコシヒカリ生育状況 (拠点12地点平均、移植日平均5月10日)

葉色は著しく低下: 目標差 -3.5 ポイント (前回(7/17)から-0.8 ポイント低下)

区分	本年値	目標差
葉色 (SPAD)	29.0	-3.5

前年同期
(9地点平均)
31.9

2 コシヒカリの管理ポイント

これまでの葉色低下で稲は低栄養状態です。さらに、8月の気象は高温予報で、このままでは、収量・品質が低下してしまいます。必ずほ場の葉色を確認して、適切な穂肥や追肥を施用し、ほ場の水分を維持して後期栄養を確保しましょう。

(1) 一発肥料の場合: 葉色低下で追肥を実施

葉色を確認し、猛暑が続くためSPAD値32以下の場合は、「出穂期12～10日前」に必ず追肥する。追肥しても改善が見られない場合は(2)に準じて出穂期6～3日前の時期に追肥する。

(2) 分施肥体系の場合: 2回目は確実に、増量も検討、3回目も検討

- ・ 2回目の穂肥は生育量に関係なく確実に施用する。葉色が薄い場合は施肥量を計画から増加する。
- ・ 3回目穂肥は、2回目を施用しても葉色低下が続く場合(SPAD値32以下)は「出穂期6～3日前」に施用する。

- 葉色、施肥量の判断に迷う場合は、JAや普及センターに御相談ください。
減減栽培で化学窒素肥料を使用する場合は、基準超過に御注意ください。

JA佐渡各営農窓口で葉緑素計(SPAD)を貸出中！葉色を確認しましょう！

3 水管理

- ・高温条件で長期湛水すると根腐れにつながるので、地域の水条件に応じて飽水管理等を行う。
- ・異常高温や強風・フェーンとなる場合は一時的に水をためて、急激な脱水による障害を防止する。
- ・大切な水資源を地域全体で無駄なく有効に使用する。(こまめな見回りを行い、ほ場に水が行き渡ったら速やかに水口を閉める等。)

農作業時はこまめな水分補給・休憩で熱中症を予防しましょう